

静岡市監査委員協議会 会議録

会 議 令和7年度 第2回 監査委員定例協議会

開催日時 令和7年6月3日（火） 午前9時10分～午前10時50分

出席者 監査委員 深澤 俊昭、白鳥三和子、堀 努、石井 孝治
事務局長 杉田 陽子
書 記 柴 秀和
山田 和誠、山田 裕 上野 貴、蝦名 倫代
宇佐美亜希、袴田有美子、齋藤 升美
青野 洋平、神山 悟、谷 梓

会議内容

1 開会宣言 柴次長

2 例月現金出納検査

（1）各種会計現金在高検査

柴次長から各種会計のつり銭資金の現金在高及び保管状況に係る検査の結果について、適正に処理されていたことを事務局職員が確認した旨の報告があった。

（2）例月現金出納検査（4月分）

ア 説明者等

- （ア）各種会計 青野係長（監査第3係）
- （イ）病院事業会計 山田参事（監査第1係）
- （ウ）簡易水道事業会計 宇佐美係長（監査第2係）
- （エ）水道事業会計 宇佐美係長（監査第2係）
- （オ）下水道事業会計 青野係長（監査第3係）
- （カ）農業集落排水事業会計 山田参事（監査第1係）

イ 発言等

（ア）各種会計

（深澤代表）

令和6年度及び令和7年度それぞれの一般会計款別歳入歳出予算及び特別会計歳入歳出予算の4月末現在収支状況の前年同月比増減率を見ると、大きく増減しているものがあるが、主なものについて増減理由を説明していただきたい。

（事務局）

令和6年度一般会計款別歳入歳出予算における収入については、19款財産収入が67.9%減となっているが、これは令和5年度に土地の売買があったためである。支出に

については、10款教育費が121.6%増となっているが、これは中学校特別教室空調設備設置工事の支払いが9億7,700万円ほどあったため、また、12款公債費が99.8%減となっているが、これは公債管理事業会計に対する繰出金が少なかったためである。

令和6年度特別会計款別歳入歳出予算については、母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計の収入が446.4%増となっているが、これは貸付金の収入日のずれのためであり、介護保険事業会計の収入が244.0%増となっているのは介護給付費交付金が増加したためである。また、競輪事業会計の収入が3,832.6%、支出が432.2%それぞれ増となっているが、これは、令和6年2月中旬から令和6年10月末まで競走路等の施設整備に伴い、本場での開催を休止していたためである。

令和7年度一般会計款別歳入歳出予算における収入の12款地方特例交付金82.1%減は、令和6年度は住宅ローン等特別税額控除に関して、追加交付があったため、17款国庫支出金241.9%増は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の収入があるとともに、児童手当負担金の支給スケジュールが変更となり、例年5～6月支給分が4月に入金されたためである。18款県支出金4,800.6%増も児童手当負担金の支給スケジュール変更に伴うものである。

支出の4款衛生費54.4%減は、令和6年度は地方独立行政法人静岡市立静岡病院運営費負担金及び静岡市立清水病院運営費負担金が4月に支払われていたが、令和7年度は5月支払予定となっているため、7款商工費83.5%減は、令和6年度は静岡市プレミアム付きデジタル商品券負担金があったためである。令和7年度特別会計歳入歳出予算において、母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計の収入88.7%減は、収入日のずれのため、駐車場事業会計の支出129.0%増は建物総合損害共済の共済基金分担金の支払が令和6年度より1か月早かったため、後期高齢者医療事業会計の支出2,600.0%増は過誤納金の還付が発生したためである。

(イ) 病院事業会計

冒頭、山田参事から、前回の定例協議会での病院事業会計の棚卸資産実地検査の報告について、次のとおり説明内容の訂正があった。

- ・調剤900品目程度の中から10件、注射500品目以上の中から10件抽出していると説明をしたが、実際の方法は、全ての調剤及び注射の中からそれぞれ35件ずつを清水病院が抽出し、その中から事務局が10件ずつを抽出している。

(白鳥委員)

年末調整の誤りによる返還について、現状はどうなっているのか。対象者は何人で、通知はすでに行っているのか。

(事務局)

対象者は76人。通知は準備中であり、7月の発送を予定しているとのことである。

(深澤代表)

試算表の資産勘定の医業未収金と医業外未収金の借方の当月欄に大きな金額が記載されているが、この内容を教えてほしい。

(事務局)

医業収益の他会計負担金が6億4,000万円、医業外収益の他会計負担金が11億円ほど計上されている。

(石井委員)

資料では、5月13日から5億円の資金運用を予定していると記載されていますが、この資金の出处は、この預金からか。

(事務局)

そのとおりである。

(石井委員)

そうすると預金残高がかなり減ってしまうような印象を受けるが、資金繰りはどのように行うのか。何か収入の予定があるのか。

(事務局)

実際には合計残高試算表上の預金の残高には影響はない。大口定期預金として預ける口座が変わるだけなので、預金としては減らない。

なお、6月末までの短期での運用を予定していると聞いている。

(深澤代表)

雑損失が1,700万円ほどあるが、内容は何か。

(事務局)

診療報酬の関係で、社会保険診療報酬支払基金や国民健康保険団体連合会といった機関に診療報酬、いわゆるレセプトを審査に付している。それが返戻されたり、査定を受けて減額してしまったりといったものがある。

それらは、請求してからおよそ2か月後の処理となるが、1月までのものについては、査定を受けて返戻されたものについて調定を減額するという方法で処理をすることができ、2月・3月分については年度をまたいでしまうので、調定の減額処理をすることができず、雑損失に計上している。

この1,700万円の雑損失のうち、およそ1,300万円程度は、今申し上げたレセプトの返戻・査定によるものになる。

(ウ) 簡易水道事業会計

(白鳥委員)

試算表にある営業外未収金及びその他未収金が5月、6月のどちらかで収入されると思われるところ、資金予算表には反映されていない。資金予算表は、資金が不足することのないように見込みを立てるために作成しているものであると理解しているが、どのように作成しているのか。収入の見込みなどは反映させないのか。

(事務局)

おそらく、昨年度の実績を基に作成していると思われるが、本年度の状況を踏まえて作成すべきと考えられることから、どのように作成をしているのか確認する。

(白鳥委員)

資金が不足することのないように見込みを立てるのであれば、本年度の状況を反映させるのが望ましいと考える。

(エ) 水道事業会計

特になし

(オ) 下水道事業会計

(深澤代表)

営業収益の収入済額累計前年度対比が0.0%となっている理由は何か。

(事務局)

令和6年度は4月から6月に毎月収入していた雨水処理負担金を、令和7年度は6月にまとめて収入予定であるためである。

(深澤代表)

営業外費用の執行額累計前年度対比が37.8%となっている理由は何か。

(事務局)

令和6年度は能登半島地震に係る災害支援費の支出があったが、令和7年度はないためである。

(カ) 農業集落排水事業会計

山田参事から次のとおり補足説明があった。

- ・一時借入金について、金融機関発行の残高証明書の交付依頼が漏れていたため、提出がなされていない状況であったことから、事務局から至急交付を受けるよう指示している。そのため、協議会終了後に監査委員の決裁を受ける例月現金出納検査結果の市長、議長等に対する報告については、残高証明書による確認ができたこと条件とする旨の記載をしている。

発言等は特になし

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第5号 包括外部監査人の監査の事務補助者に関する協議について

(ア) 説明者

山田参事

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

(白鳥委員)

記載されている場所は住所か。

(事務局)

住所であると認識しているが、住民票等で確認をしているものではない。

(石井委員)

補助者に対する報酬はどうなっているのか。

(事務局)

契約は、包括外部監査人との間で締結しているものであり、包括外部監査人が補助者に対して支払う内容は、包括外部監査人と補助者との間で決められるものと承知している。

(石井委員)

市と包括外部監査人との契約で補助者の報酬は決めていないということか。

(事務局)

そのとおりである。

(深澤代表)

資料を見ると、継続して事務補助者となっている者が見受けられるところ、法令上の制約はないと承知しているが、長期にわたる補助の場合、支障等は考えられないか。

(事務局)

まず補足になるが、包括外部監査人が包括外部監査契約を結べる回数は3回までと地方自治法で定められている。一方、補助者については、そういった制約はない。平成18年の総務省の見解では、監査を円滑に行うための補助者が連続して4年以上従事したからといって、必ずしも外部監査制度の趣旨が没却するものとは考えていないとされている。包括外部監査人が交代しているため、いわゆる馴れ合い等の支障もないと考える。

(エ) 結果

深澤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

(2) 報告事項

ア 報第3号 内部統制の不備に関する報告（令和7年4月分）について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和6年度公営企業会計決算審査の本審査について・・・・・・宇佐美係長が説明

イ 令和6年度各種会計歳入歳出決算審査の本審査（施設等調査）について

・・・・・・青野係長が説明

ウ 令和6年度内部統制評価報告書審査の本審査について・・・・・・宇佐美係長が説明

エ 令和7年度第1回定例協議会議事録の公表について・・・・・・山田参事が説明

オ 6月・7月の日程について・・・・・・柴次長が説明

4 閉会宣言 柴次長